

## 第67回 埼玉県美術展覧会審査評

### 【第1部 日本画】

審査主任 いしはら 石原 すすむ 進

本年度、日本画部門の一般、会員出品点数は199点、昨年度に比べ若干の減少となりましたが、大作が揃い県展への意気込みと質の向上に安堵しました。鑑査及び審査にあたり、一審、二審、三審と厳正に審査を行い、137点の入選を決めました。入選率は68.8%でした。入賞作品については、候補となった作品を列挙の上、投票やディスカッションを重ねて、各賞8点を決めました。紙一重の差でもれた作品も多く、誠に残念です。

全体を通して、年齢16歳から88歳と幅広い年齢層からの作品は、多種多様であり、中でも創作意欲に溢れる若い世代の自由な作品が見られました。県展の明るい兆しを感じながらも伝統を踏まえた新しい作品を期待します。入選入賞された方、今回残念ながらもれた方も含め、次回の出品に向かって大いに精進されることを希望いたしております。

#### ・埼玉県知事賞

「オミヤゲ」

いまい 今井 みはる 美晴

何処の夜店であろうか、夜店を囲んでオミヤゲを買う人々の語らいが聞こえてくるようで、暖かい色調、そして光の表現が美しく、人物が生き生きと描かれている、秀作です。

・埼玉県議会議長賞

「パーティー」 のぐち ひろこ  
野口 裕子

構成が秀逸です。落ち着いた女性の表情と光の屈折や分散するテーブル上の赤や青緑色などの対比が美しく、パーティーの雰囲気良く表現された好感の持てる作品となりました。

・埼玉県教育委員会教育長賞

「冬の始まり」 ふゆ はじ くらもち まさえ  
倉持 政江

描きたいものを切り取って大きく配置しています。色彩の微妙な変化で「もの」を描き分ける表現力は格調高い精神性を秘めた佳作です。

・埼玉県美術家協会賞

「颯韻」 ふういん すずき たかかず  
鈴木 隆一

川辺に寄り添う水草に背景の冬景色が、より寒々しい印象を醸し出しています。非常に好作です。

・埼玉県美術家協会賞

「ささら獅子」 しし たじま あけみ  
田島 明美

民芸ささら獅子舞の躍動感が伝わる素晴らしい作品です。紫色が効果的で小太鼓の音が今にも聞こえてくるようです。神事が伝わってきます。

・NHKさいたま放送局賞

「樹氷の朝」 じゅひょう あさ もりした ひろこ  
森下 博子

朝の太陽が、木々の姿を雪原に移し込んでいます。清々しい一日の始まりを樹氷を通して一層新鮮に見せている優作です。

・埼玉県美術家協会会長賞

「<sup>とお</sup>遠まわり」 <sup>しまむら</sup>島村 <sup>りょうこ</sup>良子

画面いっぱいに緑を配し、その隙間から見える空の白、人物が効果的な美しい表現となっています。丹念に描き込まれた素晴らしい作品です。

・高田誠記念賞

「トロイメライ」 <sup>かとう</sup>加藤 <sup>かづえ</sup>佳津枝

柔らかい色彩で構成され、それぞれの役割に無駄がない素晴らしい作品です。横向きの頭や折った指の表現からメロディが聞こえてくるような気がします。とても癒される作品です。